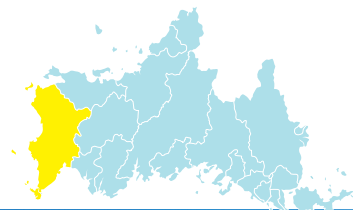


# 関門医療センター



所在 〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1

当センターは国立病院機構の施設として、国の保健医療政策を第一線で推進する重要な使命を担っています。特に、がん、循環器病、成育医療（主として母性、小児に関する医療）についてそれぞれ国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立成育医療研究センターを頂点とする全国の国立病院網と政策医療ネットワークを組み、高度先駆的・専門的医療の実施や研究、研修を精力的に進めています。

募集人数 **15名** 病床数 **400床**

(令和7年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：456,000円/月  
給与2年目：523,000円/月



## 研修プログラムの特徴

選択科が多いテーラーメイド式のため満足度の高い研修プログラムを組むことが可能です。2年間の研修期間中に総合外来、救急直営に参加し、プライマリ・ケアと救急研修の充実を図りながら、指導医の下で豊富な症例を経験できます。また多くの研修協力施設があり沖縄や吉岐、海外での研修機会もあります。

## 研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 8週	総 4週	外 4週	麻 4週	整 4週	選 4週
	内…内科、救…救急、総…総合診療科（一般外来）、外…外科、麻…麻酔科、整…整形外科、選…選択科						
2年目	小 4週	産 4週	精 4週	地 4週	選 36週		
	小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科						

## 関連病院

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口県立こころの医療センター
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 周防大島町立大島病院
- ・ 下関病院 ・ 吉水内科
- ・ 四国こどもとおとなの医療センター
- ・ 北部地区医師会病院（沖縄県）
- ・ 長崎県吉岐病院
- ・ 小倉記念病院
- ・ 公立みつぎ総合病院（尾道市）
- ・ 海外（WHO本部） ほか

## 主な勉強会

- 救急全例検討会（週1回）
- 研修医による救急症例勉強会（週1回）
- 指導医による勉強会（週1回）

プログラム  
責任者

[消化器内科]

戒能 聖治 医師



**Q 当院の自慢は？** なんといっても病院の窓から見渡せる関門海峡のオーシャンビューは圧巻です。城下町長府の歴史的地区に隣接しており、心癒される環境で研修ができます。研修医宿舎は病院敷地内で隣接しており、しっかりと研修に取り組むには最適です。周囲にはショッピングモールや飲食店も点在しており、不自由なく過ごしてもらえます。美術館も近隣にあり、少し足をのばせば唐戸市場や水族館もあり、休日にも楽しむことができます。

**Q 研修内容のセールスポイントは？** 多くの研修医が所属しており、活気にあふれています。救急患者や総合診療患者が多く受診します。研修医にはこれらの初期対応に当たってもらうため、基礎的な臨床能力を身に付けることができます。研修医が主体の症例検討会や勉強会も毎週開催されており、多方面で実力を身につけることができます。国内外に多くの関連研修施設を有しており、ニーズに合った自由度の高い研修プログラムを組むことができます。

**Q どんな指導を心掛けていますか？** 自ら取り組んでもらえるように指導しています。研修医が自分で考え、問題点を挙げ整理し、指導医とのディスカッションを踏まえて解決に進んでいけるよう努めています。当院には豊富な知識と経験を有した幅広い指導医が多く在籍しています。個々の研修医の要望に合わせた指導を心掛けています。

**Q 医学生へのメッセージ** 当院で研修を行うことで、十分に満足してもらえらるものと自負しています。研修医がはつらつと働く姿をぜひ一度見に来てください。

研修医

研修医 [九州大学出身]

宮崎 芽輝 医師



**Q 研修先病院として選んだ理由は？** 私は小児外科志望ですが、初期研修2年間は救急医療をしっかり学びたいと考え、直営業務を通じて救急が身につく当院に興味を持ちました。学生の頃に実際に病院見学を行い、先輩方が主体性をもって診療に取り組まれている姿を見て当院を選びました。下関に祖父母が住んでおり、第二の故郷であることも理由の一つです。

**Q 研修病院としての特色を教えてください。** 下関は輪番制であるため多くの救急症例を経験できます。当院では全例研修医が初期対応を行うので、「まずやるべきこと」が身に付きます。また、手技を多く経験できることも特色のひとつです。消化管内視鏡や胸腔穿刺など侵襲性が高い手技も上級医の先生方の指導のもと実施できます。プライベート面では有給なども取りやすい環境になっているため、安心です。

**Q 研修で身についたことは？** 鑑別診断に基づいて診察や検査を行い、輸液や投薬などの初療を行えるようになります。手技はルート確保や動脈穿刺はもちろんのこと、縫合、エコー、気管挿管、Aライン留置、CV穿刺なども身に付きます。病棟患者さんの管理も上級医の先生方と相談しつつ、積極的にを行っています。志望科ローテでは外来を行ったり、執刀をしたりする機会もあるため、専門領域の知識も多く学べます。

**Q 医学生へのメッセージ** 国家試験の勉強は大変ですが、必ず合格できると強く信じて頑張ってください。研修医生活はきついこともありますが、私は楽しい思い出の方が多いと感じています。下関は海鮮が最高です！休日になれば福岡も近いです。ぜひ、関門医療センターで充実した2年間を！

お問い合わせ先

- 担当部署：研修部長
- 担当者：戒能 聖治
- 電話：083-241-1199
- Eメール：KanmonKenshuui@mail.hosp.go.jp